

平成17年10月21日

4号機圧力抑制室ベント管内におけるシート片等の回収について

当所4号機は平成17年6月25日より第20回定期検査を実施しておりますが、原子炉格納容器漏えい率検査前の格納容器内点検を実施していたところ、平成17年10月20日、格納容器と圧力抑制室をつなぐベント管^{*1}内の水面にシート片らしきもの11枚が浮いていることを協力企業作業員が発見したため、回収作業を実施することとしておりました。

(平成17年10月20日お知らせ済み)

その後、回収作業を行い、同日中にシート片等10枚(最大:長さ約11cm×幅約6cm)ならびに塗装片^{*2}3個を回収いたしました。

今回発見されたものは、平成17年1月に実施したベント管内の清掃作業以降に圧力抑制室内の水位が変動したことにより、点検時確認しづらい部位および壁面等の水面近傍に付着していたものが移動してきたと推定しております。

今後とも、引き続き異物混入防止対策を徹底してまいります。

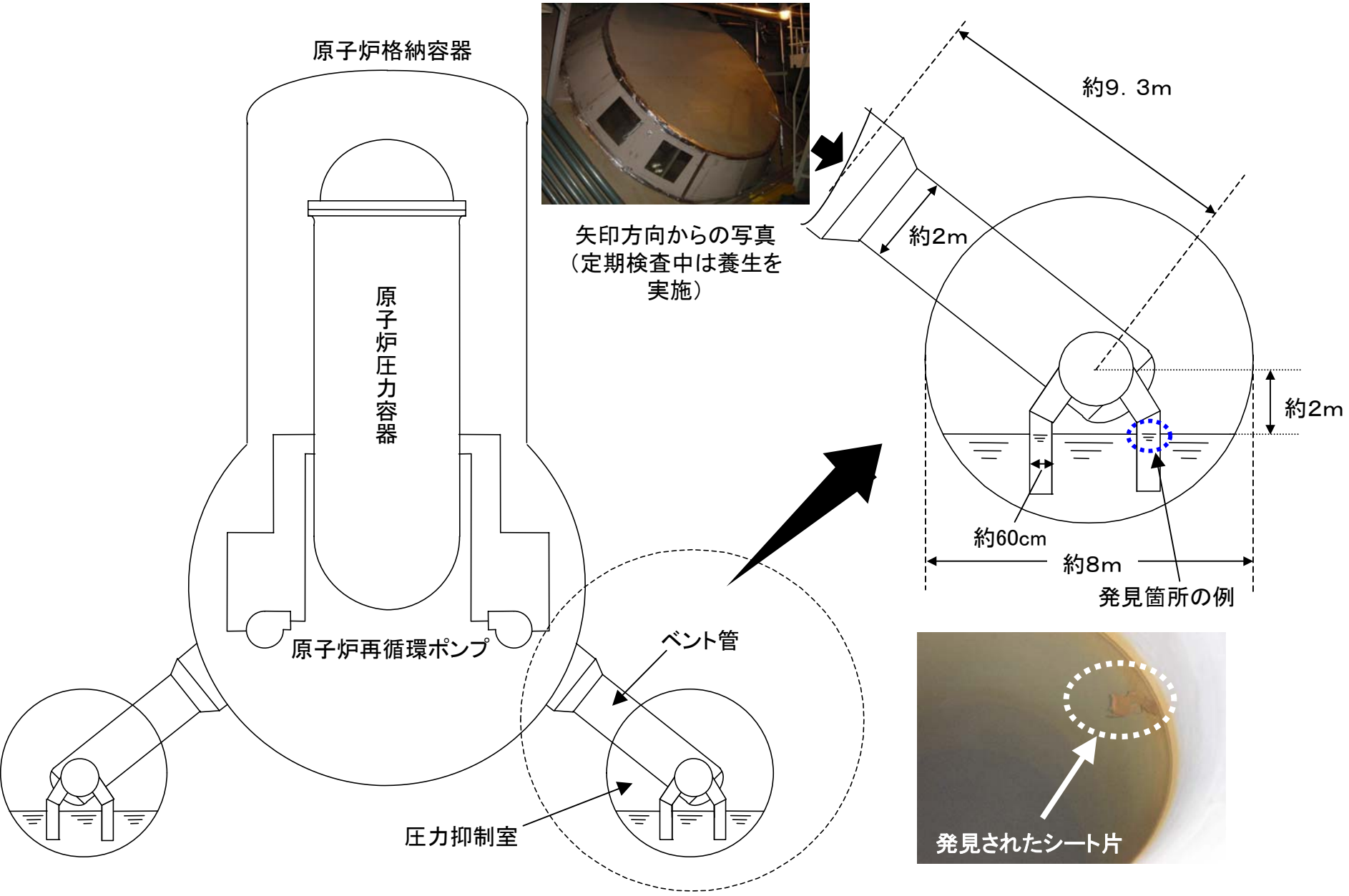
以 上

*1 ベント管

原子炉格納容器と圧力抑制室をつなぐ8本の配管、および96本の分岐配管で構成されている。

*2 塗装片

圧力抑制室内の塗装の一部が剥がれたもので、外部から混入したものではありません。



4号機圧力抑制室ベント管内でのシート片等発見・回収概要図